

個人と組織の活性化お役立ち情報

なでしこ通信 vol.4

編集・発行 株式会社 **3** キャリア



宣言企業インタビュー

「働きたい」～強い気持ちで道をひらく～

株式会社 共立アイコム

商業印刷物からWebサービス、アグリビジネスまで、幅広い事業を展開する共立アイコム。鈴木ひろこさんは、印刷物の企画、提案を行うグループで中核を担うディレクターだ。2013年秋に出産、1年間の育児休業を取得後、職場復帰した。

大学案内のデザインに携わり、コンペで勝ちとれた時の充実感。商品が評価され、顧客が再度依頼に来てくれた時の喜び。自分のアイデアが形になり、反応が返ってくる仕事に大きなやりがいを感じている。

母親の働く姿を見て育ったこともあり、出産後も仕事はずっと続けようと考えていた。しかし育児休業中には、復帰後、正社員として働くのは無理ではないかと迷ったという。「何がどれだけ大変なのか見当もつかず、ただ不安で」先輩女性社員に経験談を聞き、勤務体制について会社と何度もやりとりをした。相談を受けた人事部の鈴木聖子部長によれば、同社の場合、復職にあたって正社員と契約社員のどちらかを選択できる。一定条件を満たせば契約社員と正社員の切り替えも可能だ。このため、短い勤務時間で残業がなく、完全週休2日となる契約社員を選ぶ女性が多い。しかし、時短勤務制度の説明を受け、ひろこさんは正社員での復帰を決めた。「その方が自分の案件を最後まで責任持って仕

上げられると思ったから」だ。家族や同僚の協力も得て、正規の労働時間より1時間短い勤務で職場復帰。「戻って見たら意外と大丈夫だった」そうだ。

ところが、数ヶ月後の冬、子供が急に体調を崩すなど早退したり仕事を休まざるを得ない事が続いた。周囲に迷惑をかけてしまう、このままでは続けられない、と深く悩んだ。

それでも仕事をやめることは考えられず、ひろこさんは再度働き方を見直した。誰が抜けても仕事が滞ることのないよう、スタッフ間の業務分担を普段から考えるようにした。また、残業をなくすために分刻みとも言えるスケジュールを組み、効率良く仕事を進めることをこれまで以上に心がけている。時間の使い方は大きく変わり、仕事と家庭の両立に手応えをつかんだ。

「気概のある女性に、前向きな選択をしてほしい」と鈴木聖子人事部長。ひろこさんを見ていて、本人の頑張りが周囲を動かす、と強く感じるそうだ。こうした女性が増えることが会社の体制を整備するきっかけになるとも考えている。

どのように働き続けていくのか。試行錯誤を重ねた先にこそ「自分らしい」働き方を見せてくる。

(取材:鈴木 富貴)



【会社概要】 株式会社共立アイコム
代表取締役社長：小林武治
所在地：藤枝市高柳1-18-23
設立：1954年2月
従業員数：143名（うち女性51名）
事業内容：印刷・情報サービス
HP：<http://www.kpnet.co.jp>



管理職のホンネ&女性社員のホンネ

退社時間の状況は？

✕ 非常に残業が多い。会社の風土となっている。(50代 男性管理職)

△ 残業しないで結果を出す会社(組織)作りが必要。残業なしでの給与体系が大切。(30代 男性管理職)

△ 産休復帰者の時短勤務を補うために残業が増える場合があるが、お互いさまと思ってる。(40代 女性管理職)

○ 女性は家庭の事情もあり、時間内に最低限の業務をきっちり仕上げるところはすごいと思う。(40代 女性管理職)

△ 残業なくても業務が終了できる体制をつくるのは我々管理職の務めだと思ってる。(50代 男性管理職)

「残業あり/なし」は、「会社の風土」が生み出しているケースも多いようです。定時退社があたり前の会社は、社員からも前向きな声がかかります。会社にも個人にも良い働き方とは？組織全体で考えてみるのが改善の一歩かもしれません。

○ 残業＝利益につながらないという会社の考えで、ほぼ定時で皆が帰宅するところがすごい。(50代 女性社員)

○ 時間内に終了することが大前提。家庭が一番であるからこそ、仕事ができると会社が言ってくれている。どうしても残業は、無理をせず仲間と共有する。(40代 女性社員)

✕ 残業している＝頑張っている、定時で帰る＝暇、という考え方をどうにかして。(30代 女性社員)

✕ 上の人達が残業することをあたり前と思っているので、自然とみんなそうになってしまう。帰れない空気。(30代 女性社員)

△ 遅い人はいつも決まっている。仕方ないと思い、少し憤れてしまった自分がいる。(20代 女性社員)

✕ 残業しなければ仕事が終わらない。夜中まで残業している上司(女性)の姿を見ていると、将来管理職になりたいと思えない。(20代 女性社員)



しなやかに働く。私の未来プロジェクト / 第2回 働く意欲向上&スキルアップ 女性社員 個別相談レポート

「キャリアアドバイザーによる個別相談」

「しなやかに働く。私の未来プロジェクト」第2回目は、プロのキャリアアドバイザーによる女性社員個別面談(1人50分間)を実施しました。

面談前は、何を話して良いかわからないという方もいましたが、話をしているうちに様々な気づきがあったようです。

- モヤモヤしていた悩みの本質が見えた。話す事で整理ができた
- 思うようにいかず諦めていたが、あと1歩2歩行動できると気づいた
- 上司に対し変わらないと思っていたが、自分から働きかける方法がわかってきた
- 将来に対してビジョンがなかったが、なりたい自分像が見えてきた
- 近くの目標はもちろんだが、人生プランを考える良い機会となった
- 自分が会社の中でのパイオニアになれることに気づいた など

漠然とした悩みや気持ちの整理ができたり、ご自身の捉え方や上司・同僚・部下、中にはご家族も含め周りの人への配慮など、具体的なアクションを起こそうという気持ちになり、「過去」「現在」の視点から、「未来」の視点へ変わった方も多くいらっしゃったことが印象的でした。

忙しい日常では、なかなかご自身の状況を振り返る時間がない方も多いようです。1人50分間という短い時間でしたが、ご自身と向き合い、プロのキャリアアドバイザーと話す時間が持てたことも好評で、「すっきりした」「聞いてもらえてうれしかった」「会社やまわりの人にはなかなか相談できないことを話せた」など、「話す」ことのうれしさや納得感もありました。また、キャリアアドバイザーからの客観的なアドバイスも参考になった方もいました。

「話を聴く」サポートで、皆さまがこんなにも前向きな気持ちに変わりと、とても素敵な表情になるのだと実感した回でもありました。

[研修概要]

＜沼津＞ 2015年3月12日(木) 9:15～17:50
場所: プラサヴェルデ 参加者数: 35名

＜静岡＞ 2015年3月9日(月)/11日(水)/19日(木) 9:45～17:20
場所: ビネスト 参加者数: 72名

＜浜松＞ 2015年3月17日(火)/25日(水) 9:15～16:50
場所: アクティシティ浜松 参加者数: 36名

参加者総数: 143名



《今後の相談窓口について》

担当したキャリアアドバイザーがメールにて相談に対応致します。ご希望される方は、下記メールアドレスまでご連絡ください。

事務局 E-mail: fujinade@uruoipplus.jp



『ビジネスのお作法』 鉄は熱いうちに打て

るるキャリア代表 内田美紀子

先日お会いした外資系企業で働いている女性が、営業部門で成果の高い社員の特徴を分析してみたら、意外にも日系企業出身者が多いという結果が出て、その理由は「ビジネスにおけるお作法」をしっかり教育してくれるからではないかというお話をしてくれました。

『ビジネスのお作法』とは、相手の目線や立場になって物事を考えられるかどうか、いわゆる『配慮』ができるか、ということです。合理的な外資系ですら、日本人的『配慮』が成果につながるのですから、日本企業では更にこの『配慮』が求められます。

配慮ができる人は好感を持たれ、それが信頼につながり、今度は配慮される側になり、その結果、高い成果をあげることにつながるといふ好循環を生み出します。これは、営業職だけでなく、あらゆる職種に通じることだと思います。

若いうちにこの『ビジネスのお作法』を徹底的に身につけると、仕事の成果が早くあがってきて、仕事が楽しくなるはずです。そして、特にこの『配慮』は女性の方が得意な分野だと思います。

新入社員研修でビジネスマナーを教えると同時に『ビジネスのお作法』の必要性を考えるワークも導入してみたいかと思うか。

INFORMATION



《5月の研修》

- 第3回 女性社員向け 働く意欲向上 & スキルアップ研修
しなやかに働く。私の未来プロジェクト
テーマ: [伝える力・巻き込む力をつける]

講師: 谷澤 久美子

＜沼津＞ 5月15日(金) 13:30～16:45

場所: プラサヴェルデ 402会議室

＜静岡＞ 5月18日(月) 13:30～16:45

場所: ビネスト 大会議室

＜浜松＞ 5月22日(金) 13:30～16:45

場所: アクティシティ浜松 研修交流センター 401会議室

《6月の研修のお知らせ》

第4回 女性社員研修 沼津会場の日程が、6月9日(火)、6月20日(金)に変更になりました。沼津会場の皆様にはご迷惑をおかけしますが、上記日程のどちらにご参加頂くかメールにてご連絡しておりますので、ご確認ください。

プログラムに関するご質問・お問い合わせ

株式会社るるキャリア

〒420-0852 静岡市葵区紺屋町11-1 浮月ビル5階

TEL : 054-252-8820 FAX : 054-270-6520

URL : <http://www.uruoipplus.jp>

E-mail: fujinade@uruoipplus.jp